日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）  
日本－シンガポール共同公募「量子」

# 日本側応募申請書

※青字斜体の注意書きや記載例は提出時に削除してください。

## １．研究課題名

※ e-Radでの入力内容や相手側研究代表者の申請登録内容と同一としてください。

　日本語：

　英　語：

## ２．参画研究者（研究代表者、主たる共同研究者、相手側研究代表者）

※ 必要に応じて行の追加／削除をしてください。

※ その他の研究参加者や、相手側の主たる共同研究者の記載は不要です。

※ 相手側研究代表者の日本語表記は、日本側研究代表者が作成のうえ必要に応じて相手側研究代表者へ確認してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **役割** | **氏名** | **所属機関** | **部署**  **（学部・研究科等）** | **部署２**  **（学科・専攻等）** | **役職** |
| 研究代表者  （PI） | 科学 太郎 | 科学技術振興大学 | 科学技術研究科 | 振興学専攻 | 准教授 |
| 主たる共同研究者（Co-PI） |  |  |  |  |  |
| 主たる共同研究者（Co-PI） |  |  |  |  |  |
| 相手側研究代表者  （日本語） | ジョー　サイエンス | サイエンス大学 | テクノロジー研究科 |  | 教授 |
| 相手側研究代表者  （英語） | Joe SCIENCE | Science University | Department of Technology |  | Professor |

## ３．課題説明文

※ 日本語は1文、英語は2文以内で研究の対象と意義をまとめてください。

　日本語：　本研究は、・・について・・することで・・を目指すものです。

　英　語：

## ４．課題概要

※ 日本語は350字以内、英語は250 words以内で記載してください。

※ 非専門家でも読解可能な表現としてください。

※ 日本語は以下の記載例に沿った文体とし、英語はできるだけ日本語の対訳文に近づけてください。

※ 採択後のプレスリリースや相手国関係機関との情報共有に使用させていただく可能性があります。

　日本語：

　本研究は、・・を目的とする。具体的には、日本側チームは・・を行い、相手側チームは・・を行う。両国の研究チームによる共同研究を通して・・が期待される。

　英　語：

This collaborative research aims to…

＜以下は日本語のみ＞

※５－１から５－５は英語の申請様式Part Ⅲで記述した内容をもとに各項目120字以内で簡潔に記述してください。

## ５-１．課題の達成目標と期待される成果（OKRs）

※課題の達成目標と、その結果期待される科学技術的成果を記載すること。

## ５-２．問題の記述：

※プロジェクトが取り組む問題は何か、その重要性は何かを記載すること。また、成功した場合、その地域への貢献は何かを説明すること。

## ５-３．科学的・技術的課題とそれを克服する手段・方法：

※プロジェクトの目的を達成するために、プロジェクトが克服することを提案する科学的・技術的課題を記述するとともに、どのような手段・方法でこれらの課題を克服できるかを説明すること。

## ５-４．研究の将来展望：

※研究成果から期待される社会的・経済的貢献、プロジェクトから期待される付加価値（国際共同研究によるシナジー効果や相互利益に着目）を記述すること。

## ５-５．若手研究者等の人材交流計画：

※プロジェクトにおいて重要な役割を担う存在となり、ひいては将来国際的な活躍が期待される若手研究者等（大学院生・学部生を含む）の交流について、国際的な流動化・循環の促進、国際的なトップレベルの研究機会の提供等、具体的な計画・成果を記載すること。

## ６．他制度での助成等の有無

【注意事項】

* 研究代表者および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度(日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）への申請を含む)やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。公募要領 別紙（日本側応募者への応募にあたっての注意事項）の「第 4 章 応募に際しての注意事項」もご参照ください。
* 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。
* 本提案課題を必ず１つ目に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体、総額)が多い順に記入してください。
* 必要に応じて行を増減してください。

### 研究代表者：　氏名　（所属 役職）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 制度名 | 受給  状況 | 研究課題名  (代表者氏名) | 研究  期間 | 役割  (代表/  分担) | (1)本人受給研究費(期間全体)  (2) 〃 (2026年度 予定)  (3) 〃 (2025年度 予定)  (4) 〃 (2024年度 実績) | 2026  年度  ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| - | NEXUS  日本－シンガポール共同研究「量子」 | 申請 | 提案課題名  （〇〇〇〇） | 2026.4  －  2029.3 | 代表 | (1) 千円  (2) 千円  (3) －  (4) － |  |
| (1) | 科学研究費補助金 基盤研究(S)  （JSPS） | 受給 | ××による◇◇の創成  （○○○○） | 2021.4  －  2026.3 | 代表 | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円  (4) 千円 |  |
| (2) |  |  |  | － |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円  (4) 千円 |  |
| (3) |  |  |  | － |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円  (4) 千円 |  |

### 主たる共同研究者：　氏名　（所属 役職）　　※主たる共同研究者がいない場合は削除

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 制度名 | 受給  状況 | 研究課題名  (代表者氏名) | 研究  期間 | 役割  (代表/  分担) | (1)本人受給研究費(期間全体)  (2) 〃 (2026年度 予定)  (3) 〃 (2025年度 予定)  (4) 〃 (2024年度 実績) | 2026  年度  ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| - | NEXUS  日本－シンガポール共同研究「量子」 | 申請 | 提案課題名  （〇〇〇〇） | 2026.4  －  2029.3 | 分担 | (1) 千円  (2) 千円  (3) －  (4) － |  |
| (1) |  |  |  | － |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円  (4) 千円 |  |
| (2) |  |  |  | － |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円  (4) 千円 |  |
| (3) |  |  |  | － |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円  (4) 千円 |  |

## ７．備考欄

※ 「日本側応募者への応募にあたっての注意事項」の第2章「2.3 利益相反マネジメントの実施」の「(2) PIの利益相反マネジメント」、「(3) JSTの利益相反マネジメント」を参照の上、「PIに関係する機関」を参画機関とする場合、もしくはJSTの出資先企業を参画機関とする場合には、この欄に申告ください。

# 研究代表者　記入用チェックリスト(For Japanese PI Only)

※法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応について、提案内容に照らして各項目の該当／非該当を選択してください。該当する場合は「□」をクリックし、「☑」と記載してください。（複数選択可）

「その他」に該当する場合、内容を具体的に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応 | |
| （１）安全保障貿易管理に対する取組を必要とする研究 | |
| [非該当] | （　非該当とした判断理由を具体的にご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　）  ※非該当だとしても、研究期間中に研究活動・技術が機微技術情報に関連する場合には事前にJST担当者へご相談いただきます。 |
| [該　当]  ※右欄の該当□をクリック  ※複数選択可 | 試料、装置や情報を相手国・地域に持ち出し、提供する予定である  　リスト規制、キャッチオール規制に該当しない  　リスト規制に該当し、適切に輸出措置を行う  　　（　具体的に実施事項をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　キャッチオール規制に該当し、適切に輸出措置を行う  （　具体的に実施事項をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （２）生物遺伝資源等利用に伴う各種規制に対応する必要がある研究 | |
| [非該当] | （　非該当とした判断理由を具体的にご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [該　当]  ※右欄の該当□をクリック  ※複数選択可 | 遺伝資源を含む試料等を相手国・地域に持ち出し、提供する予定である  日本国内で遺伝子組換え生物等を用いる際の規制措置に該当する  　カルタヘナ法を遵守し、各種申請を適切に行う  　　（　具体的に実施事項をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　名古屋議定書の国内措置であるABS指針に従う  　　（　具体的に実施事項をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　その他（　具体的に実施事項をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （３）個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究 | |
| [非該当] | （　非該当とした判断理由を具体的にご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [該　当]  ※右欄の該当□をクリック | 個人情報を伴う調査・研究等を実施する予定である  　個人情報保護に関する法律を遵守する  　　（　具体的に実施事項をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （４）知的財産等の取扱に対する配慮が必要な研究 | |
| [非該当] | （　非該当とした判断理由を具体的にご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [該　当]  ※右欄の該当□をクリック  ※複数選択可 | 試料や装置、研究情報や結果を相手国・地域と共有する予定である  　国際共同研究契約を締結する  　秘密保持契約を締結する  　物質移動合意書を締結する  　その他（　具体的に実施事項をご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （５）・生命倫理及び安全対策に対する取組を必要とする研究  ・人権及び利益の保護の取扱いに対応する必要がある研究  ・社会的・倫理的配慮を必要とする研究 | |
| [非該当] | （　非該当とした判断理由を具体的にご記入ください　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [該　当] | （　該当する場合、研究内容および対策への取り組みについて具体的に記載ください　　） |

**上記のとおり相違ありません。**

**（所属機関名）**

**（役職）　　　　　　（氏名）**

令和　　年　　月　　日

安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催し承認を得る旨の確認書を、申請書とともにJSTに提出してください。やむをえない事情などにより、確認書の提出が公募締切に間に合わないと見込まれる場合は、事前にjoint-call-ja@jst.go.jpまでお問い合わせください。  
公印は省略可能です。各機関において定められた手続きによって省略してください。省略する場合は本頁の右上に機関における文書番号を記載願います。

# 確認書

国立研究開発法人科学技術振興機構　御中

（研究代表機関）

機関名

機関長名 公印

日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）に提案する下記の研究提案が採択された場合、研究実施にあたり、安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催して承認を得ることを研究機関の責任として確認します。またそれらのための適正な管理を行う環境や体制を整えます。

記

○提案課題名　　　　　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

○研究代表者　　　　　　所属部署

役　　職

氏　　名